

TBS みのもんたの朝ズバッが取材!!

「釜石市最後の芸者と八王子花街の交流が始まった!!」

釜石花柳界のお座敷芸「釜石浜唄」が綿々と引き継がれて..

日本お座敷遊び協会では HP を通じて被災した釜石市最後の芸者伊藤さんの支援を呼びかけていました。協会が応援する八王子花柳界の芸者衆の皆さんに賛同して頂き、また、当協会へマスコミからも多くのお問合せを頂きました。

八王子花柳界の恵さんより伊藤さんにお会いし、着物、練習用の三味線などをお贈りしたいとお話しを頂きました。当協会から伊藤さんの連絡先を恵さんに教え、5月1日に伊藤さんに会いに行くことが決まりました。当初、5月2日の予定でしたが、事前に当協会にお問合せ頂いていた TBS みのもんたの朝ズバッ様から八王子芸者衆の伊藤さん訪問を取材したいとのご依頼を頂き、当協会の調整により急遽日程が変更になりました。

八王子の中町を拠点に活動する八王子芸妓衆の皆さんは5月1日の夜中八王子を車で出発し、岩手県釜石市に行かれました。

5月1日の正午、TBS みのもんたの朝ズバッ取材陣同行の上、伊藤さんが避難している旧釜石 第一中学校で伊藤さんとお会いし、伊藤さんが震災で失くされた着物、三味線の代わりにと、八王子芸者の恵さんから練習用の三味線をお贈りしました。伊藤さんは、三味線を受け取るとすぐに調律を行い、三味線を弾き始めました。

およそ1時間の滞在でしたが、伊藤さんの見事な演奏とともに、若い八王子芸妓衆は、芸者の心にも触れることが出来ました。

この八王子芸者衆の伊藤さん訪問を5月2日のTBS「みのもんたの朝ズバッ」で放送されました。

伊藤さんは、八王子芸者衆の皆さんを前に釜石のお座敷芸である「釜石浜唄」を三味線で披露されました。釜石浜唄は綿々と釜石の花柳界で引き継がれ、現在、伊藤さん唯一人がお座敷で披露していました。今回の被災で伊藤さんが引退ということになれば、釜石浜唄も伊藤さんで途絶えてしまう可能性があります。これは、釜石が特別ということでは無く、全国地方の花柳界で発生している現象であり、芸者衆が居なくなることで、その地域にあったお座敷芸も無くなっているのです。

恵さんからは、6月2日に再度、伊藤さんに会いに釜石に行くとお聞きしています。その時に「釜石浜唄」を伊藤さんから教えて戴くそうです。八王子の芸者衆が「釜石浜唄」を芸の一つとすることで、仮に釜石では聞けなくても、東京の八王子で「釜石浜唄」が引き継がれ、どこかのお座敷で「釜石浜唄」が聞ければ、「釜石浜唄」は綿々と残っていくのではないのでしょうか。また、釜石花柳界と八王子花柳界の芸の交流が行われ、協会としてもご協力させて頂ければと考えています。

日本お座敷遊び協会では、八王子の芸者衆が同業の被災した釜石芸者を支援するように全国の芸者衆のネットワークが出来ることで、芸者衆の交流が生まれ、地域を超えた芸の伝承が成されるのではないのでしょうか。そうなることで、地方のお座敷芸が綿々と引き継がれて行くと考えます。

日本お座敷遊び協会では、釜石芸者の伊藤さんが元気になられたら、東京で現役復帰のお座敷大宴会を八王子花柳界と合同で開催したいと思っています。その日が早く来るように、伊藤さんに早く元気になってもらえればと願っています。

平成 23 年 5 月 10 日

日本お座敷遊び協会 会長 鈴木正秋